

明石市 障害者雇用を拡大

兵庫県明石市は、来年度の障害者採用の対象を、これまでの身体障害者から、知的障害者や精神障害者などにも拡大することを明らかにしました。

これは明石市の泉房穂市長が28日の記者会見で明らかにしたものです。



それによりますと、明石市はおととし障害者採用の枠を設け、現在あわせて35人の身体障害者が総務などの事務職や学校の用務員として勤務しています。しかし、国が障害者雇用の拡大を各自治体に求めていることを受けて、来年度から知的障害者や精神障害者も採用することにしたということです。

県内ではこれまで明石市を含む15の自治体で身体障害者を採用してきましたが、知的障害者や精神障害者を採用するのは明石市がはじめてだということです。

明石市では精神障害者などについてこれまで民間企業への就労支援を行ってきましたが、泉市長は「民間企業に精神障害者の雇用をお願いしているのに市役所自身が採用していないというのではいけない。市役所でも採用を進めることで、障害者の就労支援のあるべき姿が見えてくるのではないかと述べました。明石市では来年度知的障害者や精神障害者、それに難病患者なども対象に2人程度採用することにしていて障害の程度によって通勤や業務上での支援も行うとしています。

10月28日 18時52分